



## —東北生産性本部—

# 1. 第38回仙台シンポジウム 3月例会開催

## テーマ 「中国の経済・政治情勢と日中関係」



### ■ 3月例会（平成 28 年 3 月 1 日開催）

講師 拓殖大学客員教授、評論家 <sup>せき</sup> 石 <sup>へい</sup> 平 氏

『第38回仙台シンポジウム3月例会』は、拓殖大学客員教授、評論家の<sup>せき</sup>石<sup>へい</sup>平氏を迎え、約70名の参加を得て開催いたしました。

講演では、中国政府が公表している2015年国民総生産（GDP）6.9%について、「李克強指数」という経済指標から、電力消費量の伸び率が0.5%程度、鉄道貨物輸送量の伸び率がマイナス11%程度であることからすると、GDP 6.9%は考えられず、マイナス成長になっている可能性がある」と解説されました。また、これまで中国を支えてきた「輸出」と「投資」について、『二台の馬車』に例えながら、「輸出」については、中国の人件費高騰に伴い、人件費の安いベトナムなどに生産拠点が移っていること。また、「不動産開発・投資」においては、やりすぎてゴーストタウンが発生するなど、日本で言えば大阪府に匹敵する面積の在庫を抱えている状況にあり、不動産バブル崩壊は、不動産開発業者の破綻やシャドーバンキングへの影響も避けられず、金融破綻へも繋がる可能性もあること。また、企業の人員削減等が進むと、農村から都市部へ移動した2億6千万人もの「現代流民」と言われる人々が定職から溢れ、貧富の格差への不満が爆発し、共産党に向かっていくことも考えられると解説されました。

また、その一方で、習政権は「民族の偉大なる復興」を掲げ、アヘン戦争以前の華夷思想による世界の中で卓越した国であることを意識していることや、世界の貿易の中でも多くの貿易船が通過する南シナ海の南沙諸島へ、アジア戦略の重要地点として進出していること、また、経済的には、米国を中心としたTPP（環太平洋パートナーシップ）に対立する構図の中で、A I I B（アジアインフラ投資銀行）を進めていることなどについて解説されました。

最後のまとめとして、今後、中国と日本の対立構図が進むことは避けられないものの、やはり中国が日本の大きな貿易相手先であることに変わりなく、今後もバランスを取りながら付き合いしていくことが懸命であろうと話されました。

以上のように、中国と日本を取り巻く状況等について詳しく解説いただき、理解を深める講演会となりました。

# 2.平成27年度労使定例政策研究会 第4回例会開催

## テーマ 「女性の活躍促進と労働環境づくり」



■ 第 4 回例会(平成28年3月3日)開催

講師 西嶋社会保険労務士事務所 所長 西嶋 淑子 氏

『平成 27 年度労使定例政策研究会』第 4 回例会は、現在、女性の活躍推進が企業の競争力や企業価値の向上、さらに多様な人材を組織で活かすダイバーシティの観点からも大変注目されており、ひいては日本の経済社会の持続的成長を実現するための成長戦略のひとつとされていることから、**西嶋社会保険労務士事務所 所長 西嶋淑子 氏**（特定社会保険労務士）をお招きして、約 50 人の参加を得て開催いたしました。

講演では、昨年 8 月に国会で成立した「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律」の概要ならびに平成 28 年 4 月 1 日までに各県労働局への提出が必要な「事業主行動計画」の策定ポイント、女性の活躍状況の把握や課題分析等について詳しく解説された後、女性活躍が阻害されている要因（固定的性別役割分担意識、ワークライフバランスの欠如、キャリア不安、子育て支援サービス不足、管理職候補人材不足など）についてデータを交えて解説されました。

また、女性が活躍できる具体的な職場づくりについて、企業トップの強いコミットメントや組織的な取り組み、ワークライフバランスの推進に関する諸施策、多様で柔軟な働き方を保証する人事制度への見直し等について解説されました。さらに女性が活躍しやすい職場風土づくりについて、「男性の育児参画」がセットであり、また、育児が終わっている管理職世代では、男女を問わず、職場で共に働く部下・スタッフのワークライフバランスを考え、その人のキャリアと人生を応援しつつ、組織としての業績結果を出し、かつ、自らも仕事と私生活を楽しむことができる「イクボス」としての育成していくことが大切であると話されました。

以上のように、あらためて、「女性の活躍」に向けて、企業のスタンス、管理職や男性労働者の意識改革が大変重要であることについて理解を深めていただいた講演となりました。

### <平成 28 年度「第 39 回仙台シンポジウム」6 月例会のご案内>

例 会	テ ー マ	講 師
6 月 1 3 日 (金)	「グローバル化時代を勝ち残る ものづくりの要諦」 ～ T O T O が大切にしてきたもの～	T O T O 株式会社 代表取締役副社長執行役員 猿渡 辰彦 氏

\*会場は仙台商工会議所会館 7 階大会議室、時間帯は 13 時 30 から 1 5 時です。参加ご希望の方は、東北生産性本部 (TEL 0 2 2 - 2 6 1 - 0 4 1 1) までご連絡ください。